



AIエージェントで、業務を自動運転する

2026/09/07 自治体AX研究会 発表資料

会社紹介

会社名	株式会社LayerX（レイヤーエックス）
創業	2018年 8月1日
資金調達額	282.6億円
主要株主一覧	 MITSUI & CO.  MUFG 三菱UFJ銀行  MIZUHO みずほキャピタル  三井住友トラストグループ 三井住友信託銀行
従業員数	646名（2026年3月末時点）
代表取締役	<u>代表取締役CEO 福島 良典</u> 東京大学大学院工学系研究科修了。2012年度IPA未踏スーパークリエータ認定※。2016年Forbes Asiaよりアジアを代表する「30歳未満」に選出。2012年大学院在学中に株式会社Gunosyを創業、創業よりおよそ2年半で東証マザーズ（現東証グロース）に上場。LayerXが2社目の起業。 <u>代表取締役CTO 松本 勇氣</u> 東京大学工学部卒。20代後半で数千人企業の手IT企業のCTOとして600名のエンジニア組織の技術組織改革を推進し、その後LayerXへ参画。Microsoftの日本最大級のイベントで基調講演等にも登壇。日本CTO協会理事。 ※「IPA未踏」とは【突出したIT人材】を発掘して育てる国家事業のことで、そこで特に優秀であると評価された者に「スーパークリエーター」の称号が授与される
事業ポートフォリオ	・ バクラク事業 （バックオフィス業務をAIとBPOで自動化推進するサービスの開発・販売）【全企業対象】 ・ AI Workforce事業 （生成AIを活用した汎用AIワークフロー製品の開発・販売）【大手企業対象】 ・ Fintech事業 （証券化された金融商品を作る・売る・運用を行う事業）【法人・個人投資家対象】 ・ セキュリティ事業 （AIエージェントによる自律的なペネトレーションテストを提供）



飯沼 広基(いいぬま ひろき)
株式会社LayerX 執行役員
(バクラク事業部プロダクト担当)

東京ガス株式会社にてハードウェアエンジニア、株式会社グラファーにて事業開発、株式会社LayerX バクラク事業の複数プロダクトの企画を経て、現任。
バクラクシリーズ各製品の企画責任者。

株式会社グラファーでは、自治体向けのソフトウェアを展開。自身の関与したプロジェクトは東京都、神戸市、福岡市、京都市、北九州市など広域自治体/政令市/中核市など述べ数十の自治体DXプロジェクトに関与。

略歴

-  TOKYO GAS
 - ハードウェアエンジニア
 - プロジェクトマネージャー
-  Graffer
 - 事業開発
 - 自治体向けソフトウェアの立ち上げ・導入支援
-  LayerX
 - プロダクトマネージャー

バックグラウンド



POINT 01

事業基盤

282.6億円の資本と
銀行からの出資による
安定した基盤



みずほキャピ



三井住友トラストグループ
三井住友信託銀行

長期的なサービスのご提供を
前提として、大規模資金調達を実施。
安定した事業基盤のもと
サービスを提供

POINT 02

国内有数の技術力

CTO経験者多数、圧倒的
な開発スピード

大手企業・スタートアップ含めCTO経験者が20名以上在籍



DeNA CTO
常務執行役員



メルカリ CTO
執行役員



クックパッド CTO/CISO
技術本部長



DMM CTO
執行役員



Sansan
情報セキュリティ部長



kaggle GrandMaster^{※1}



Snowflake Data Superhero^{※2}

^{※1}2,400万ユーザーを超える世界最大の機械学習オンラインプラットフォーム。
Grandmasterは最高位のランクで世界で400名程度、日本でも7-80名程度しか存在しない。
^{※2}世界的に有名なクラウドデータベース製品の最難関資格で、2026年3月末でグローバル126人しか存在しない。

有名企業のCTOや技術責任者など
国内トップレベルの精鋭エンジニアが
多数在籍。**他社を圧倒する速度で**
新機能追加と新サービスをリリース中。

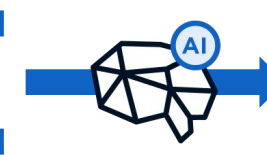
POINT 03

AI技術の実装

専任エンジニアによる
製品へのAI組み込み



AI-OCR



AI-Agent



個別学習

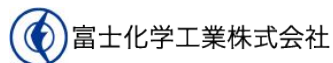
最先端モデル活用だけでなく、用途に
応じた**AIエンジンの自社開発**も。
すでに**実運用で使える多くのAI機能**が
多数リリース済。

製造

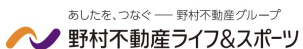
 SEKISUI

 OLYMPUS

 ASANO GEAR
奥浅野歯車工作所

 富士化学工業株式会社

不動産・物品賃貸

 TOYOBO 東洋紡不動産株式会社  あしたを、つなぐ——野村不動産グループ
野村不動産ライフ&スポーツ

 KASUMIGASEKI
CAPITAL

 MEIWA
黎明和住販流通センター

情報通信

 NTT ExCパートナー  GMO TECH  その常識、変えてみせる。
SHIFT

 KDDI
KDDI Web Communications

 mercari

はたらくに“彩り”を。
 Timee

建設・運輸

 丸伊運輸株式会社 Marui Transport Co., Ltd.  飯田グループホールディングス
一建設株式会社

 JAL
JAPAN AIRLINES

 peach

施設・店舗運営

 帝国ホテル

 APA

 SBC
Medical Group Holdings, Inc.

 YAKUDO 薬王堂

あなたのオフをもっとスマイルに。
 RE/OL
リソルグループ

金融・保険

 SAISON
ASSET
MANAGEMENT
セゾン投信

 MITSUI & CO.
DIGITAL ASSET
MANAGEMENT

 FFG

 Coincheck

卸売・小売

 一風堂

 IRIS
IRIS OHYAMA

東京  子

 MITSUI & CO.
三井物産流通グループ

 京急百貨店

士業事務所

 辻・本郷 ITコンサルティング

 SEVENRICH
Accounting

 IKP
Inter-
Knowledge
Partners

 GRANCERS

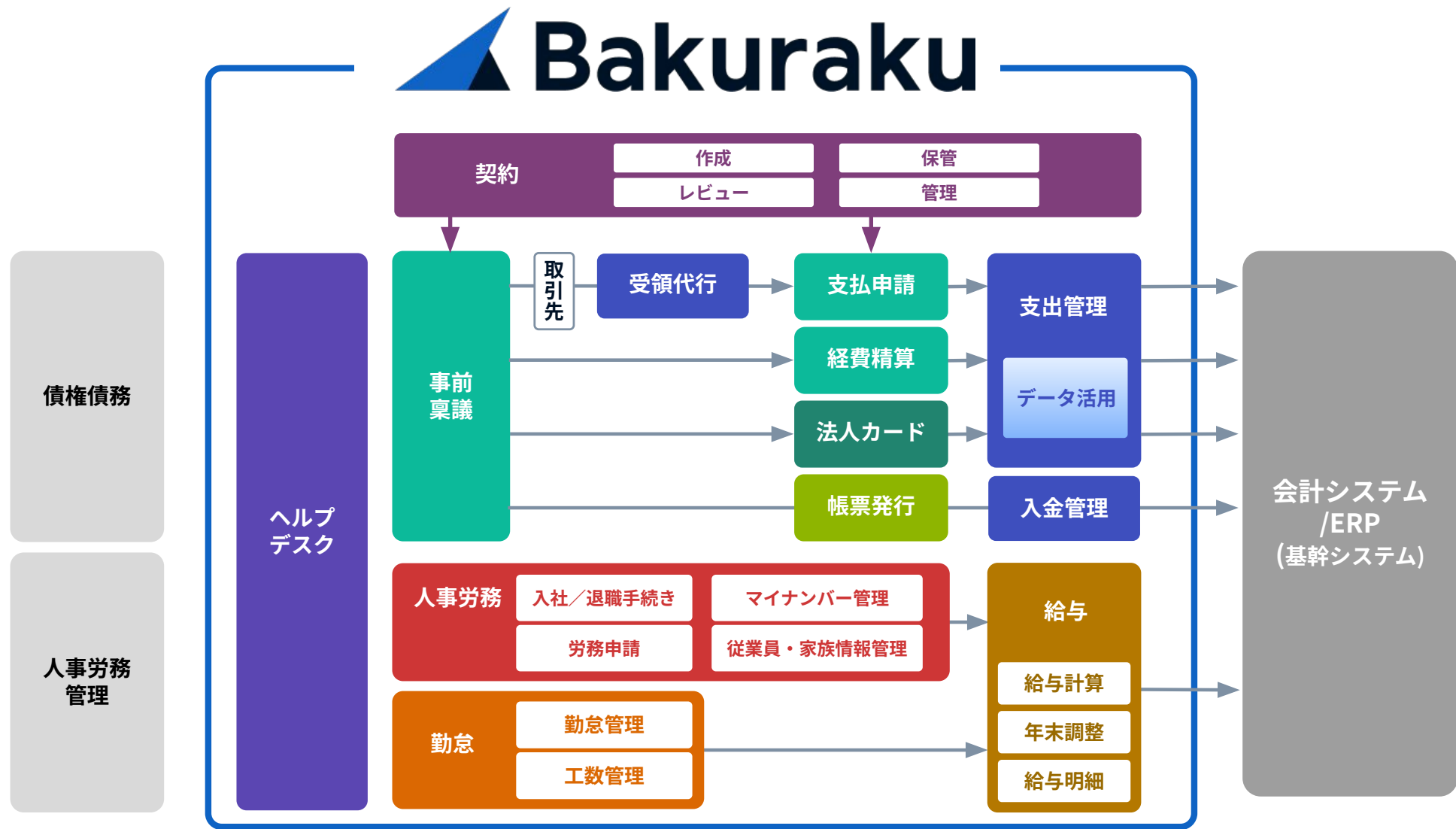
非営利法人

 放課後 NPO
アフタースクール

 JOCA 公益社団法人
青年海外協力協会

 MEI WAKAI
Shintoshu Kame Town
明るく豊かな地域社会を目指して
社会福祉法人 明和会

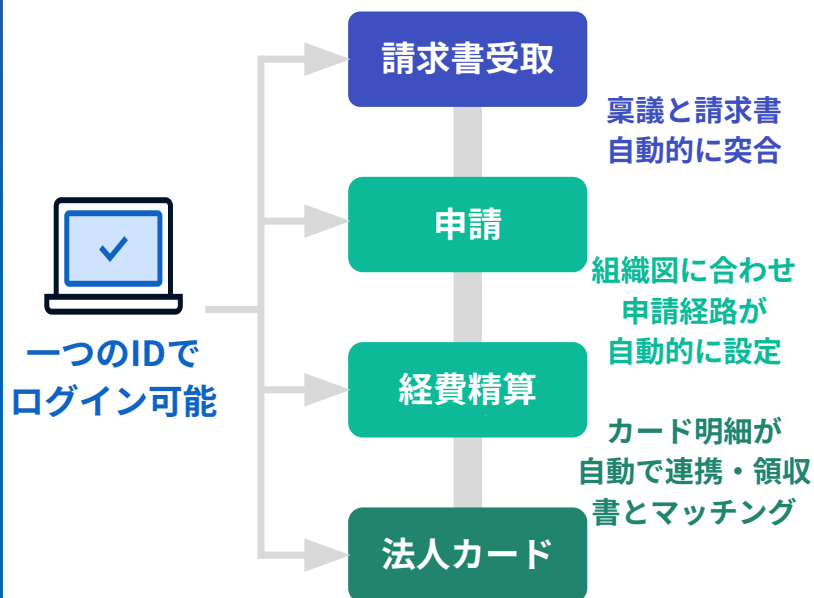
 Code for
Japan



バクラクは、基幹システムに記録するためのデータをAIによって自動的に処理し、連携を行います。幅広いバックオフィス領域をカバーし、組み合わせることにより最適な企業運営へと繋がります。

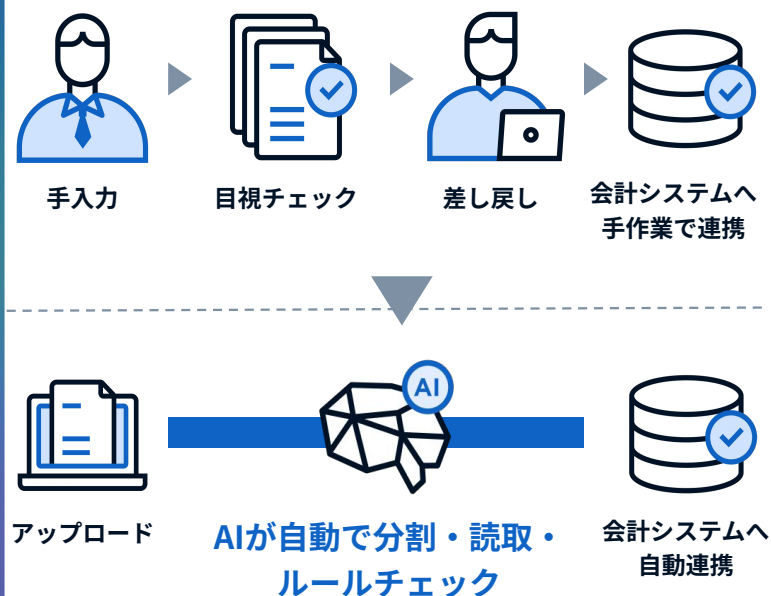
POINT 01

連携性の良い オールインワン製品



POINT 02

AI(人工知能)によって 業務そのものをなくす



POINT 03

リアルタイム データ活用・分析

2025年9月のコスト増減の要因は何か？



マーケティング部 (+70百万) : ネット広告の配信による増加
調達部 (+30百万) : 原材料価格の高騰・為替影響による増加

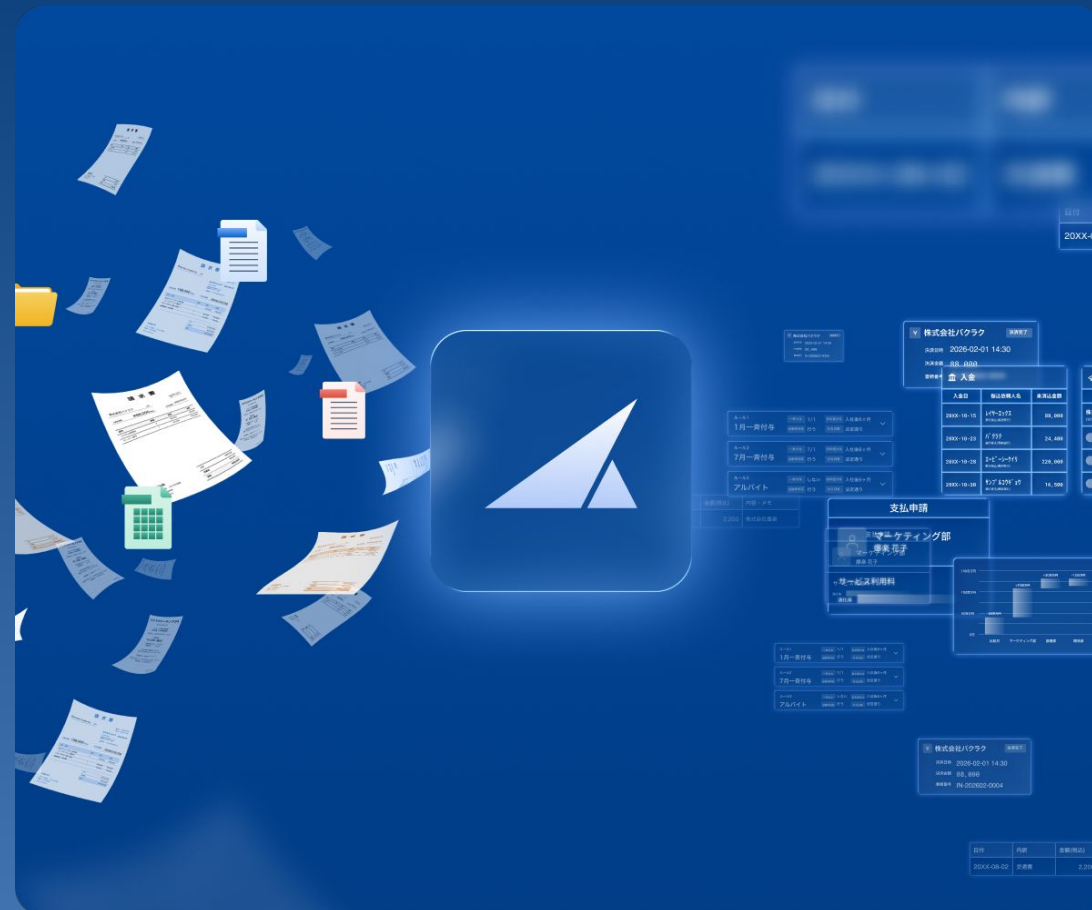


AIエージェントで 業務を自動運転する

バクラクは、バックオフィス業務を自動化する
AIエージェントを提供するクラウドサービスです。

AIが日々仕事を進め、人は結果を受け取り判断に集中する。
作業を楽しむのではなく、その作業が無くなる状態を。
月次を待つ経営から、日々意思決定できる経営を実現します。

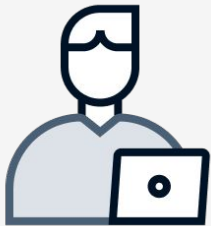
中小企業から大企業まで、15,000社を超えるお客様の
働きやすい環境づくりと事業成長を支援しています。



「入力補助」の先へ — 業務を“自動運転”するプロダクト群

AI Copilot : 従来

ヒト主体の“入力補助”



必須入力の補助

経費科目にタクシー代と入力したら
メモ欄に同乗者と目的を入力依頼

部分的な自動入力

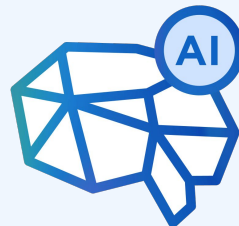
OCRで領収書の内容を読み取り→
書かれていない項目は人間が記入する

ヒトが業務を進める

人が確認し、人が差し戻しをする。
人がその後のシステム連携処理を実行

AI Autopilot : 目指す世界

業務の“自動運転”



業務プロセスを自律実行

受取→処理→承認→完了まで
人は「確認・判断のみ」の世界

AIエージェントが文脈で処理

固定ルールではなく
AIが文脈を理解して個別対応

AIエージェントがシステム連携

組織図・マスタを共通利用し、
エージェントがシステムと連携

AI Managed : その先

経営の“参謀化”



浮いた時間を戦略業務へ

コスト削減・投資判断などの
意思決定に集中

攻めのバックオフィス比重を増加

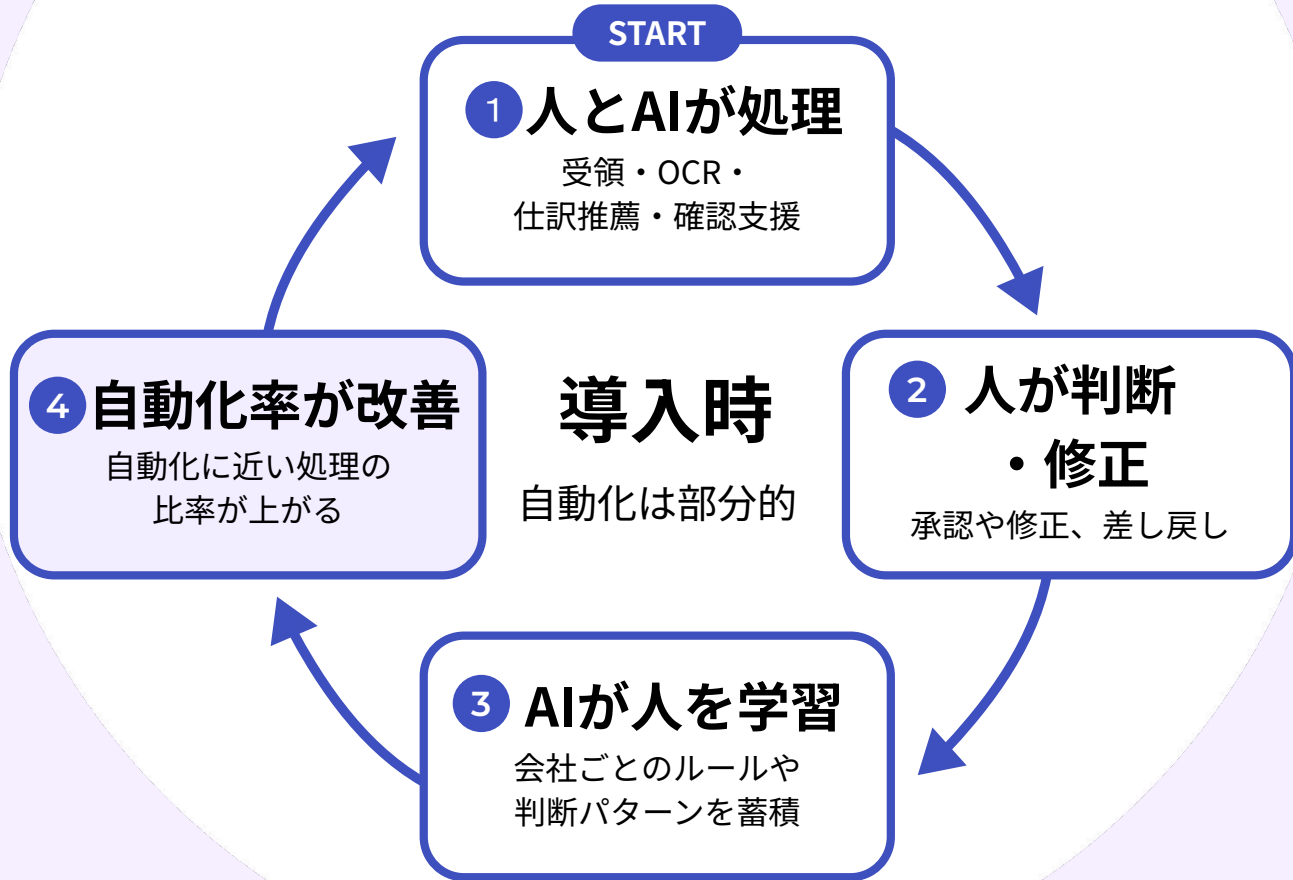
帳簿を作る/月次を締めることから
経営分析の領域までカバー

会社全体の売上・生産性向上

バックオフィスが会社のアウトカム
を高める経営の参謀に

AIによる自動化ループで自動運転が進む仕組み

Step1: 自動化ループを閉じる



Step2: ナレッジを溜める

3か月後 ✨
会社ごとの判断を学習
仕訳・承認の
確認件数が減る

Step3: 自動化を磨く

1年後 ✨
一致度の高い処理は
自動承認
人は例外と改善に集中

使えば使うほど、自動運転が進む仕組み

技術的な仕組みについて

ワークフロー型 vs エージェント委任型の二元論が議論の本質ではない

本質は「制御フローを誰が持つか」

分かれ目は「LLMが入っているか」ではない。

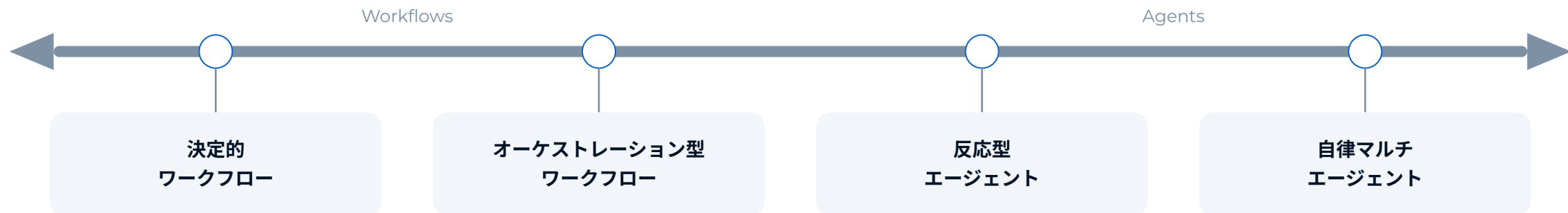
制御フローを誰が持つか — 人間が事前にコードで書くか、モデルが実行時に推論するか。

予測可能性 Predictability

人間がコードで事前定義

自律性 Autonomy

モデルが実行時に推論



出典: Anthropic 「Building Effective Agents」 (2024) / Machine Learning Mastery (2026)

自動承認(委任型)の利用割合(※)

Claude.ai 49%

対話しながら補助する利用が多い

Claude Code 79%

AIが直接タスクを進める利用が中心

委任型の人への確認タイミング

補完型

提案

確認

提案

確認

提案

確認

委任型

委任

AIが実行

結果確認

AIだけが進める時間

※出典: Anthropic Economic Index, 2025-04-28 (Claude Code / Claude.ai 計50万件、2025-04-06~13)

ワークフロー自体は人間の設計で補う足場であり、モデルの進化を鑑みると委任型に振れる ▲Bakuraku

業務に必要な信頼性ライン

足場は薄くなる

